

ささりんどう



学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数
男子 159名
女子 161名
合計 320名

校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校だより No.8 令和2年 9月30日



ひょうたんの教え

校長 齋地 満

高く澄みわたった空が広がり、ほのかにひんやりとした風とともに、過ごしやすい秋となりました。運動会では、PTA役員をはじめとする保護者や地域の皆様に準備から後片付けまでご協力いただき、厚く御礼申し上げます。新しい生活様式の中、子供たちと教職員は、運動会に向けて工夫をしながら一生懸命、練習に取り組んできました。運動会当日の子供たちは、その成果を十分に発揮し、生き生きと楽しく活動していました。そして、私たちにも明るさと元気を与えてくれました。縮小したとはいえ、無事に実施できましたことに感謝いたします。

さて、本校の玄関にはひょうたんが飾られています。それを見て、小学校の恩師のことを思い出しました。恩師は、5・6年の担任だったのですが、ひょうたんを教室に飾っていました。丸く膨らんだ部分を指さしながら、「よく学び、よく遊べ。」と説明し、「よく見てごらん、下の『よく遊べ』の方が大きいでしょう。そして、この真ん中のくびれた部分を『けじめ』といいます。けじめをつけて生活しましょう。」と話をされていました。くびれた部分には、紐が結んであったように記憶しています。

私が校長となった時にその恩師から、励ましの手紙が届きました。思いがけず、たいへん驚きましたが、「原点に立ち返り、地域の人たちに愛される学校づくりをしてください。」という言葉がしたためてありました。

本年度は、休校もあり、行事一つとっても判断が難しい局面が続いています。そのような時は、原点に立ち返り、「学校が子どもたちにとって楽しい場所であり、成長できる場」となるよう、「できること」と「できないこと」のけじめをつけて、乗り切っていこうと考えています。また、休校中は家の中での活動となったため、勉強と遊びのバランスやけじめがつきにくく、ストレスを抱えた子供たちも多かったことでしょう。改めて、仲間とのかかわりの中で学ぶという学校の環境がいかに大切であるのかを痛感しました。そこで、10月からは、月に2回程度、昼休みとそうじの時間を合わせたロング昼休みを設けてみたいと考えています。よく遊ぶことによって、好ましい人間関係の構築とより学習へ集中できるけじめ、そしてストレス解消の時間になればと思います。

箕田小学校が子供たちにとって楽しい思い出の場、よき成長の場となるように努めてまいります。

☆お知らせ

- ・1学期末にアカウントを設定していただきました「Google Classroom」でございますが、今後長期の休校となった場合に、映像授業の配信や、プリント類の提示・提出などが可能になる環境を整えることを目的としております。ご理解のほどお願いいたします。